

- 1 会議名 議会運営委員会
- 2 日 時 令和 6 年 9 月 2 4 日（火）
開会 午後 3 時 2 0 分
閉会 午後 3 時 3 1 分
- 3 場 所 正・副議長応接室
- 4 出席委員 （委員長）梅村均、（副委員長）片岡健一郎
（委 員）谷平敬子、木村冬樹
- 5 欠席委員 なし
- 6 出席議員 関戸郁文議長、井上真砂美副議長、水野忠三議員、堀江珠恵議員、大野慎治議員、日比野走議員
- 7 事務局 議会事務局長 丹羽至、同主幹 田島勝己
- 8 委員長あいさつ
- 9 議長あいさつ
- 1 0 協議事項

（１）意見書提案説明の進め方について

梅村委員長：委員会提出議案として、9 件の意見書が出される予定である。

保育園関係で国と県 6 件、私学助成で国と県 2 件、定数改善計画の 1 件を予定している。今までは委員長が 1 件ごとに登壇して自席に戻り採決をしていた。9 件の議案が見込まれるので、登壇して説明を一括して行うかなどまとめて取り扱ってはどうかという意見も出されているので、調整を行いたい。

木村委員：この委員会で取扱いを合意できればよいが、よく考えると請願者にとってわかりやすい方法がよいのではないかと思う。時間として変わらないと思うが、1 件ごとに採決してはどうか。

片岡副委員長：木村委員が言われたように、請願は陳述人が委員会に来られたので、後から会議録を見られる方にとっても、どの議案を採決したかわかりやすいと思う。

梅村委員長：色々な考え方があるが、例えば保育園のものは一括で説明する方法もあると思うが、岩倉市議会では議案 1 件ごとに採決を行っているので、1 件ごとの扱いがわかりやすくてよい。ある議会では、議会最終日の採決方法は、委員長報告は登壇し、全ての報告を行い採決は別に行う方法もある。岩倉市は議案ごとに委員長報告を行い、採決を行う方法を行っている。

大野議員：今回採択した請願は 1 件に対し国と県それぞれ意見書を提出する内容となっている。

片岡副委員長：国と県それぞれの意見書を採決していくことになる。

木村委員：文案は同じなのか。

片岡副委員長：意見書は国への要望、県への要望があり文末が多少異なっている。

木村委員：議案だから読み上げるものは読み上げる。方法はそれでもよいのでは。議長の取り計らいで委員会提出議案を一括とするか。

議会事務局長：岩倉市の場合、提案理由の説明をしていない。一括とする説明をしていないのに、一括で取り扱うのはどうか。

関戸議長：一括とする理由を説明するが…。

片岡副委員長：一括とすることを説明するのは提案説明する私なのか。

関戸議長：説明するのは私である。

議会事務局長：内容は似通っているが、提出先が異なるので、その点をどう考えるのか。

関戸議長：議案を一つにしたとき、私が全部説明することになるだろう。

梅村委員長：議案１件ごとに取り扱うことにする。（各委員：了承）

最終日の本会議で取り扱うときに改めて確認する。

（２）その他

（追加議案の委員会付託について）

梅村委員長：本日の全員協議会で追加議案について説明があったが、委員会付託についてはどうか。

木村委員：思うところがあるかもしれないが、原則的なところは守るべきと私は思う。

梅村委員長：付託については、最終日に議論して決めていきたい。（各委員：了承）

１ １ その他

特になし